

“ Imaging Conference JAPAN 2026 ” Preliminary Program

画像価値多様化への挑戦

－ 来て・見て・語れ，若い力とつながりが拓く画像技術の未来 －

The Challenge of Diversifying Image Value

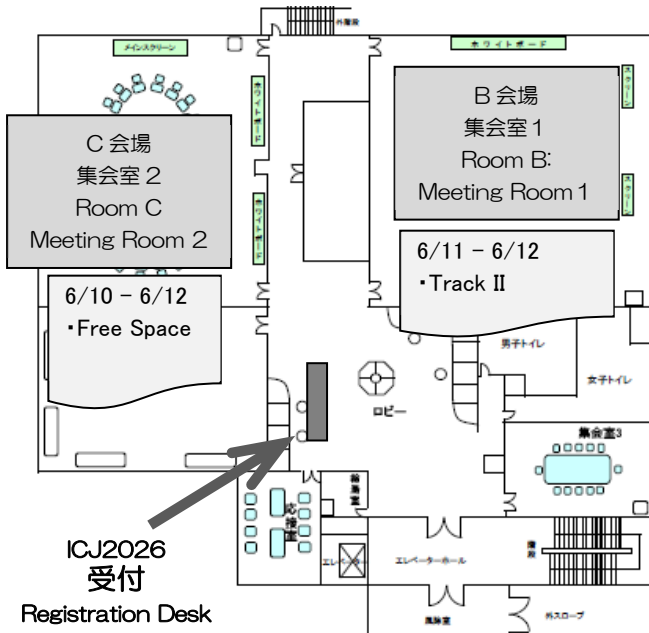
- Come, Watch, and Discuss,

Young Talent and Nexus Pioneer the Future of Imaging Technology

- ◆ 日時
Date 2026 年 6 月 10 日 (水), 11 日 (木), 12 日 (金)
June 10 (Wed.), 11 (Thu.), 12 (Fri.), 2026
- ◆ 会場
Place 東京科学大学 横浜キャンパス すずかけホール / ハイブリッド開催
〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259
Suzukake Hall, Yokohama Campus, Institute of Science Tokyo
4259 Nagatsuta-cho, Midori-ku, Yokohama, Kanagawa / Hybrid Meeting
- ◆ 主催
Sponsored by 一般社団法人 日本画像学会
The Imaging Society of Japan
- ◆ 協賛
In cooperation with 一般社団法人 画像電子学会 一般社団法人 日本印刷学会
一般社団法人 日本写真学会 日本視覚学会
一般社団法人 日本機械学会 デジタルテキスタイル研究部会
一般社団法人 色材協会 一般社団法人 加飾技術研究会
The Institute of Image Electronics Engineers of Japan
The Japanese Society for Printing Science and Technology
The Society of Photography and Imaging of Japan
Vision Society of Japan
The Japan Society of Mechanical Engineers
Digital Textiles Research Subcommittee
Japan Society of Colour Material
The Association of Decoration Technologies
- ◆ 特別協力
Supported by 公益財団法人横浜市観光協会
Yokohama City Visitors Bureau
- ◆ 問い合わせ先
Reference 日本画像学会事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
The Imaging Society of Japan Bureau
c/o Tokyo Polytechnic University
2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo 164-8678, Japan
TEL 03-3373-9576 FAX 03-3372-4414
URL <https://www.imaging-society-japan.org/isj.html>

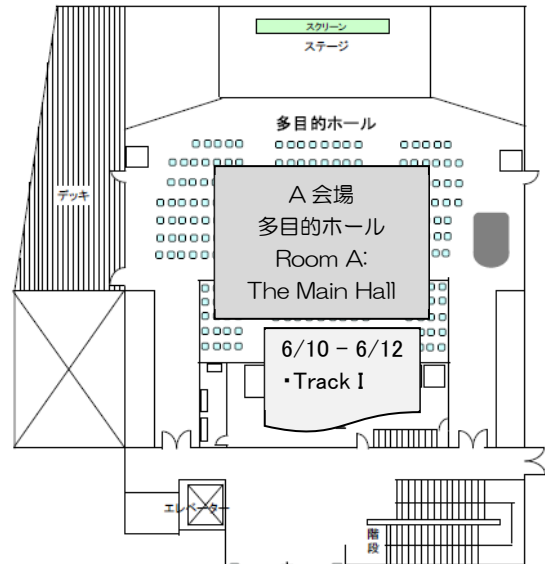
Imaging Conference JAPAN 2026 Event Map

すずかけホール / Suzukake Hall
H2 棟 2階 / 2F H2 Building

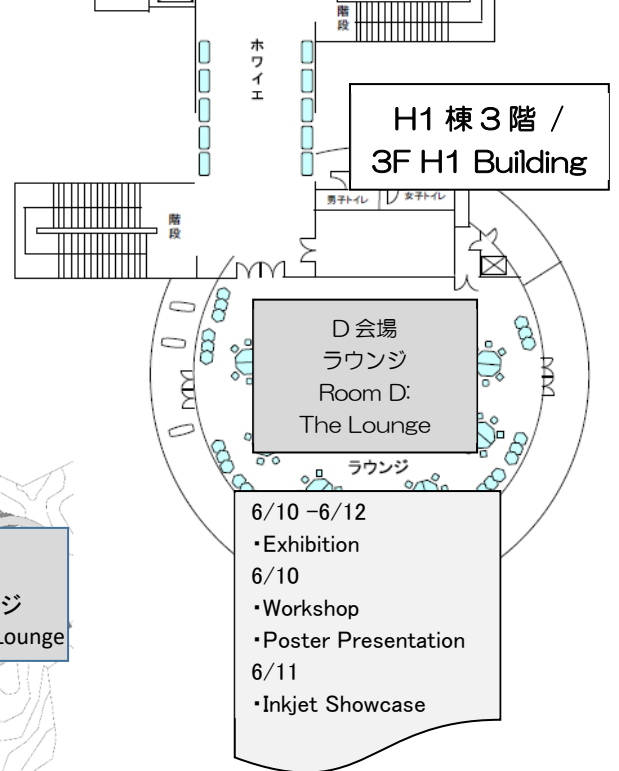


★ C会場 集会室 2 は、大会期間中フリースペースとして開放します。

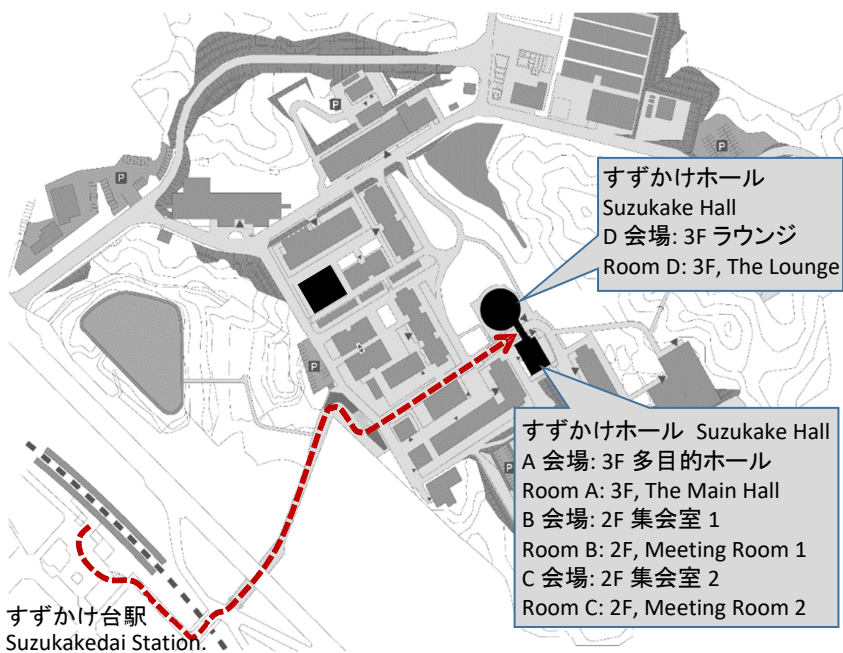
すずかけホール / Suzukake Hall
H2 棟 3階 / 3F H2 Building



H1 棟 3階 / 3F H1 Building



横浜キャンパス/
Yokohama Campus



Imaging Conference JAPAN 2026 Timetable

	第1日 6月10日 (水)				第2日 6月11日 (木)				第3日 6月12日 (金)			
	Track I A会場 ホール	Track II B会場 集会室1	C会場 集会室2	D会場 ラウンジ	Track I A会場 ホール	Track II B会場 集会室1	C会場 集会室2	D会場 ラウンジ	Track I A会場 ホール	Track II B会場 集会室1	C会場 集会室2	D会場 ラウンジ
9:00												
9:30	開会											
10:00	基調講演				電子写真 (1)	画像・感性 (1)			インクジェット (1) インク・ヘッド	電子ペーパー・フレキシブル (1)		
10:30					オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー			オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー		
11:00	インタラクティブセッション: ショートプレゼンテーション				電子写真 (2)	画像・感性 (2)			インクジェット (2) システム・応用	電子ペーパー・フレキシブル (2)		
11:30	2026年度日本画像学会定時総会				オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー			オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー		
12:00												
13:00												
13:30												
14:00	論文賞記念講演 (1)				Imaging Today 特別セッション				コニカミルタ研究奨励賞記念講演			
14:30	プリンタブル・ウェアラブルデバイスの基盤技術と応用				オーサーズインタビュー				論文賞記念講演 (2)			
15:00	オーサーズインタビュー				インクジェットショーケースショートプレゼンテーション				インクジェット (3) メディア上挙動	電子ペーパー・フレキシブル (3)		
15:30	3D・加飾				電子写真 (3)				オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー		
16:00	オーサーズインタビュー				オーサーズインタビュー				インクジェット (4) 吐出	電子ペーパー・フレキシブル (4)		
16:30	第5回複写機遺産認定式				オーサーズインタビュー				オーサーズインタビュー	オーサーズインタビュー		
17:00												
18:00	懇親会 (H1棟2階 Kitchen MOTOTECH ~19:30)				インクジェット拡大交流会 (H1棟2階 Kitchen MOTOTECH ~19:50)				・下線付きのセッションはオーガナイズドセッション ・対面とZoomのハイブリッド形式			
19:00												

Imaging Conference JAPAN 2026 Timetable

	Day1 June 10 (Wed.)				Day2 June 11 (Thu.)				Day3 June 12 (Fri.)			
	Track I RoomA Hall	Track II RoomB Room1	C Room 2	D Lounge	Track I RoomA Hall	Track II RoomB Room1	C Room 2	D Lounge	Track I RoomA Hall	Track II RoomB Room1	C Room 2	D Lounge
9:00												
9:30	Opening											
10:00	Keynote Speech				Electrophotography (1)	Image/Kansei (1)			<u>Inkjet (1) Ink/Head</u>	Electronic Paper/Flexible (1)		
10:30					Authors' Interview	Authors' Interview			Authors' Interview	Authors' Interview		
11:00	Interactive Session: Short Presentation				Electrophotography (2)	Image/Kansei (2)			<u>Inkjet (2) System/Application</u>	Electronic Paper/Flexible (2)		
11:30	The 2026 General Meeting of the Imaging Society of Japan				Authors' Interview	Authors' Interview			Authors' Interview	Authors' Interview		
12:00												
13:00												
13:30	Commemoration Lecture of the Paper Award (1)				Imaging Today Special Session				Commemoration Lecture of Konica Minolta Award			
14:00	Fundamental Technology and Application of Printable/Wearable Devices				Authors' Interview				Commemoration Lecture of the Paper Award (2)			
14:30	Authors' Interview								<u>Inkjet(3) Behavior on Media</u>	Electronic Paper/Flexible (3)		
15:00	3D-Decoration				<u>Inkjet Showcase: Short Presentation</u>				Authors' Interview	Authors' Interview		
15:30	Authors' Interview				Electrophotography (3)				<u>Inkjet (4) Ejecting Process</u>	Electronic Paper/Flexible (4)		
16:00	The 5th Copying Machine Heritage Certification Ceremony				Authors' Interview				Authors' Interview	Authors' Interview		
17:00												
18:00	Social Hour (H1 Building 2F Kitchen MOTOTECH ~19:30)				Inkjet Networking Event (H1 Building 2F Kitchen MOTOTECH ~19:50)							
19:00												

- Underlined sessions are organized ones.
- Conference will be held with hybrid style.

特別企画 / Special Events

基調講演 / Keynote Speech

6/10 (水)

世の中を変えた QR コードの原点と成長

株式会社デンソーウェーブ 原 昌宏

The Origin and Growth of QR Code That Changed the World

Masahiro Hara (DENSO WAVE INCORPORATED)



QR コードは誕生してから今年で 32 年を迎えました。今でも世界中の人々があらゆる場所で使用し、社会に欠かせないインフラまでに成長しました。そこで、QR コードを開発した当時を振り返り、QR コード発想の原点と普及シナリオ、世界中の人々に受け入れられるようになった要因についてお話しします。また、あまり知られていない QR コードの特長、進化した QR コード、最近の QR コードの活用事例などについて紹介します。

受賞記念講演 / Awarded Lecture

2024 年度論文賞受賞記念講演

Commemoration Lecture of the Paper Award 2024

6/10 (水)

機械学習による CdSe 量子ドット赤色発光ダイオードの効率予測

大阪公立大学 内藤 裕義

Predicting the Efficiency of Red CdSe Quantum-Dot Light-Emitting Diodes Using Machine Learning

Hiroyoshi NAITO (Osaka Metropolitan University)

6/12 (金)

高粘度液体オンデマンド連続吐出機構の開発および評価

日本工業大学 小林 和也

Development and Evaluation of On-Demand Printing Technology for Highly Viscous Liquids

Kazuya U. KOBAYASHI (Nippon Institute of Technology)

6/12 (金)

2024 年度コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞記念講演

Commemoration Lecture of the Konica Minolta Science and Technology Foundation Research Grant 2024

3D プリンターを用いた物理量の空間配置に関する研究

東京大学 山崎 淳

Research on the Spatial Arrangement of Physical Quantities Using 3D Printers

Jun YAMAZAKI (The University of Tokyo)

特別企画 / Special Events

ワークショップ / Workshop

6/10 (水)

若い力のつながりで拓く！画像技術者の未来座談会

日本画像学会 企画委員会

Experience of Using AI Tools !

**A Roundtable Discussion on the Future of Imaging
Technology Engineers**

Planning Committee (The Imaging Society of Japan)

ショーケース / Showcase

6/11 (木)

インクジェット・ショーケース

日本画像学会 ICJ2026 実行委員会

Inkjet Showcase

ICJ2026 Executive Committee

(The Imaging Society of Japan)

オーガナイズドセッション / Organized Session

6/12 (金)

インクジェット (1) : インク・ヘッド

Inkjet (1): Ink / Head

インクジェット (2) : システム・応用

Inkjet (2): System / Application

インクジェット (3) : メディア上挙動

Inkjet (3): Behavior on Media

インクジェット (4) : 吐出

Inkjet (4): Ejecting Process

6/12 (金)

電子ペーパー・フレキシブル (1)~(4)

Electronic Paper / Flexible (1)~(4)

Imaging Today 特別セッション Imaging Today Special Session

テーマ「最新の画像処理技術」

Theme: “The Latest Image Processing Technology”

6/11 (木)

プロダクションプリンティングへ向けた印刷用標準フォーマット PDF/X とバリアブル印刷用フォーマットの発達

元 NTT 印刷株式会社 松木 眞



Development of Standard Document Printing Format PDF/X and Variable Document Printing Format for Production Printing

Makoto MATSUKI (Former NTT Printing Corporation)

デジタルプリンターは、その技術発展によりオフセット印刷などの印刷生産の一部を置き替え、バリアブル印刷へ対応可能としている。この発展には印刷用標準フォーマット PDF/X や、バリアブル印刷フォーマットの寄与も大きい。PDF/X のデジタル印刷への対応状況とバリアブル印刷フォーマットの PDF/VT を中心に解説する。

エプソンのカラーインクジェット画像処理開発の歴史

セイコーエプソン株式会社 角谷 繁明



History of Epson's Color Inkjet Image Processing Development

Toshiaki KAKUTANI (Seiko Epson Corporation)

1982 年から現在まで、44 年間の会社人生の大半をインクジェット画像処理開発に費やしてきた。そこでこの機にエプソンのカラーインクジェットプリンター用画像処理技術開発の歴史を、時系列で振り返ってみた。まず、インクジェットでの写真画質は困難と考えられていた黎明期に、その常識を覆して写真画質を実現するのに画像処理技術がどのように貢献をしたかを、3 次元ルックアップテーブルを用いた色補正技術と、完璧な粒状性を実現するためのハーフトーン技術を中心に明らかにした。次いで、2000 年以降、主にインクジェットプリンターの高速化に伴い発生した、粒状性劣化、むらの発生などの画質課題と、それに対応するために新規開発した画像処理について解説した。

電子写真プリンターの発展と画像処理の関わり

コニカミノルタ株式会社 坂谷 一臣



Contribution of Image Processing for the Progress of Electrophotographic Printers

Kazuomi SAKATANI (KONICA MINOLTA, INC.)

画像処理のデジタルプリンターへの関わりについて概説する。電子写真の露光方式がアナログからデジタルに変わり、画像処理がその発展に大きな役割を果たしてきた。ディザや誤差拡散のハーフトーン処理、最高濃度や濃度ムラ、階調等の画質調整による高画質化はもとより、スキャナーや分光測色計といったプリンター内部に設置したインラインセンサーによるセンシングと画像処理技術を組み合わせて自動化を図ることで、オンデマンドプリンターとして要求される差別化要素である省人化とスキルレス、生産性向上が実現されている。

日本機械学会 情報・知能・精密機器部門連携企画
Joint Event With Information, Intelligence and
Precision Equipment Division of the Japan Society of
Mechanical Engineers

テーマ「プリンタブル・ウェアラブルデバイスの
基盤技術と応用」

Theme: “Fundamental Technology and Application of
Printable/ Wearable Devices”

6/10 (水)

ナノ空間における光硬化性液体の濡れ

名古屋大学 伊藤 伸太郎

Wetting of Photocurable Liquids in Nanoscale Spaces

Shintaro ITOH (Nagoya University)

微細印刷の工程ではマイクロな空間における液体の濡れの理解が重要である。本研究ではナノ流路デバイスを用いてナノ空間における濡れの現象解明を試みた研究を紹介する。

**ストレッチャブルデバイスの高機能化に向けた液体金属の
基盤技術**

横浜国立大学 太田 裕貴

**Advanced Liquid Metal Technologies for Enhancing the
Performance of Stretchable Devices**

Hiroki OTA (Yokohama National University)

次世代のウェアラブルデバイスやロボティクスにおいて、高伸縮性・電気的特性を両立するストレッチャブルデバイスへの期待が高まっている。本講演では、ガリウム系液体金属 (LM) を用い、デバイスを高機能化するための基盤技術について概説する。特に、LM の流動性を活かした高精細な伸縮配線の形成技術や、剛性差を最適化した硬軟混合構造による断線抑制手法について紹介する。またセンサ群から得られる複雑な信号を機械学習によって解析し、高精度な動作認識を実現するシステム構成についても述べる。LM の基礎物性から、アクティブマトリクス駆動を見据えた応用展開まで、液体金属が関わるストレッチャブルエレクトロニクスの最新動向を論ずる。

第1日目：6月10日（水） / Day 1 : June 10 (Wed.)

Track I 9:30~17:20

A会場（H2棟3階多目的ホール）
Room A (Main Hall, 3F, H2 Building)

9:30 - 9:40

開会挨拶 / Opening Remarks

ICJ2026 実行委員長 飯野 裕明 (東京科学大学)
General Chair of ICJ2026, Hiroaki IINO (Institute of Science Tokyo)

9:40 - 10:30

Keynote Speech

座長：藤井 雅彦 (慶應義塾大学 SFC 研究所), 中井 洋志 (エトリア)
Session Chairs: Masahiko FUJII (Institute at SFC of Keio University),
Hiroshi NAKAI (ETRIA Co., Ltd.)

KN-01 世の中を変えた QR コードの原点と成長

The Origin and Growth of QR Code That Changed the World

原 昌宏
Masahiro HARA

(株式会社デンソーウェーブ)
(DENSO WAVE INCORPORATED)

10:30 - 10:35 Break

10:35 - 11:05

インタラクティブセッション：ショートプレゼンテーション

Interactive Session: Short Presentation

座長：峯岸 なつ子 (コニカミノルタ)

Session Chair: Natsuko MINEGISHI (KONICA MINOLTA, INC.)

IN-01 圧電セルフセンシングを用いたノズル状態監視型インクジェットシステム

Intelligent Inkjet Printing System With Piezoelectric Self-Sensing Based Nozzle Monitoring

朴 相鉉, 權 啓示, 趙 貞燁, 李 盡率

(順天郷大學校)

Sanghyeon PARK, Kye-Si KWON, JeongYeop JO, Jinsol LEE

(Soonchunhyang University)

IN-02 輝度トーンマッピング下の色相不変性を目指して：解析・合成ペア設計に基づく1+2分解

Toward Hue Invariance Under Luminance Tone Mapping: A 1+2 Decomposition via Analysis-Synthesis Pair Design

横田 ブンガク

Bungaku YOKOTA

- IN-03** 公共サインの類似性と識別性に関する研究
 A Study on the Correlation Between Image Similarity and Distinctiveness in Public Signs
 矢口 博之 (東京電機大学)
 Hiroyuki YAGUCHI (Tokyo Denki University)
- IN-04** 不織布 Roll-to-Roll 生産におけるインライン厚み測定技術の開発
 Development of an Inline Thickness Measurement Technology for Nonwoven Fabric Roll-to-Roll Manufacturing
 西岡 悠哉, 畑中 悠希, 岩森 暁 (東海大学)
 Shuya NISHIOKA, Yuki HATANAKA, Satoru IWAMORI (Tokai University)
- IN-05** 画像解析および液滴試験を用いた不織布の繊維配向性評価
 Evaluation of Fiber Orientation in Nonwoven Fabrics Using Image Analysis and Droplet Testing
 中田 星空, 畑中 悠希, 岩森 暁 (東海大学)
 Seira NAKADA, Yuki HATANAKA, Satoru IWAMORI (Tokai University)
- IN-06** DNA/Ru(bpy)₃²⁺複合膜型 ECL 挙動の顕微解析と素子寿命の関係
 Microscopic Analysis of the ECL Behavior of DNA/Ru(bpy)₃²⁺ Composite Membranes and Its Relationship to Device Lifetime
 木村 優菜, 小林 範久, 中村 一希 (千葉大学)
 Yuna KIMURA, Norihisa KOBAYASHI, Kazuki NAKAMURA (Chiba University)
- IN-07** 休止時間を含む矩形波交流電圧印加による Ru(bpy)₃²⁺錯体 ECL 素子の発光特性評価
 Evaluation of Luminescence Characteristics of Ru(Bpy)₃²⁺ Complex-Based ECL Devices Driven by Rectangular AC Voltage Waveforms With Intermittent Time
 辻 純平, 津田 和樹, 小林 範久, 中村 一希 (千葉大学)
 Jumpei TSUJI, Kazuki TSUDA, Norihisa KOBAYASHI, Kazuki NAKAMURA (Chiba University)
- IN-08** キャッピング剤を導入した銀析出型 EC デバイスによる単一電極面における多色変調変化
 Multicolor Modulation Changes on a Single Electrode by Ag Deposition-Based EC Device Using Organic Capping Agent
 梅谷 虎太郎¹, 宇治 駿², 小林 範久¹, 中村 一希¹ (1千葉大学, 2東京工芸大学)
 Kotaro UMETANI¹, Shun UJI, Norihisa KOBAYASHI¹, Kazuki NAKAMURA¹
 (1Chiba University, 2Tokyo Polytechnic University)
- IN-09** 微細空間における円盤状液晶の配向評価と電荷輸送特性
 Evaluation of Molecular Orientation and Charge Carrier Transport Property of Discotic Liquid Crystal at Micro Space
 小林 航介, 鈴木 一世, 飯野 裕明 (東京科学大学)
 Kosuke KOBAYASHI, Issei SUZUKI, Hiroaki IINO (Institute of Science Tokyo)
- IN-10** 電子ペーパー表示の動的挙動の分析—エレクトロクロミック方式とツイストボール方式について
 Analysis of the Dynamic Behavior of E-Paper Displays: Electrochromic and Twist-Ball Methods
 高木 隆聖, 和田 陽貴, 菊池 陽大, 前田 秀一 (東海大学)
 Ryusei TAKAKI, Youki WADA, Yota KIKUCHI, Shuichi MAEDA (Tokai University)

11:05 - 11:10 Break

11:10 - 12:00

2026 年度日本画像学会総会

The 2026 General Meeting of the Imaging Society of Japan

運営委員会 (日本画像学会)

Steering Committee (The Imaging Society of Japan)

12:00 - 13:30 Lunch Break

13:30 - 14:00

2024 年度論文賞受賞記念講演 (1)

Commemoration Lecture of the Paper Award 2024 (1)

座長: 宮本 栄一 (京セラドキュメントソリューションズ), 中村 一希 (千葉大学)

Session Chairs: Eiichi MIYAMOTO (KYOCERA Document Solutions Inc.),

Kazuki NAKAMURA (Chiba University)

PA-01 機械学習による CdSe 量子ドット赤色発光ダイオードの効率予測
Predicting the Efficiency of Red CdSe Quantum-Dot Light-Emitting Diodes Using Machine Learning

内藤 裕義, 木下 喬之, 佐野 翔一, 永瀬 隆, 小林 隆史

(大阪公立大学)

Hiroyoshi NAITO, Takayuki KINOSHITA, Shoichi SANNO, Takashi NAGASE, Takashi KOBAYASHI

(Osaka Metropolitan University)

14:00 - 14:05 Break

14:05 - 15:05

日本機械学会情報・知能・精密機器部門 連携企画

Joint Event With Information, Intelligence and Precision Equipment Division of the Japan Society of Mechanical Engineers

「プリンタブル・ウェアラブルデバイスの基盤技術と応用」

“Fundamental Technologies and Applications of Printable and Wearable Device”

座長: 植木 平吾 (リコー), 加川 哲哉 (コニカミノルタ)

Session Chairs: Heigo UEKI (Ricoh Company, Ltd.),

Tetsuya KAGAWA (KONICA MINOLTA, INC.)

PW-01 ナノ空間における光硬化性液体の濡れ(招待講演)
Wetting of Photocurable Liquids in Nanoscale Spaces (Invited Speech)

伊藤 伸太郎

(名古屋大学)

Shintaro ITOH

(Nagoya University)

PW-02 ストレッチャブルデバイスの高機能化に向けた液体金属の基盤技術 (招待講演)
Advanced Liquid Metal Technologies for Enhancing the Performance of Stretchable Devices (Invited Speech)

太田 裕貴

(横浜国立大学)

Hiroki OTA

(Yokohama National University)

15:05 - 15:35 Authors' Interview

15:35 - 16:15

3D・加飾
3D / Decoration

座長: 山口 大地 (リコー), 橋詰 博徳 (ミマキエンジニアリング)

Session Chairs: Daichi YAMAGUCHI (Ricoh Company, Ltd.),

Hironori HASHIZUME (MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.)

TD-01 AM 設計が変える画像装置設計: 部品点数削減と全体最適による“観測しやすい構造”……………
AM-Enabled Design of Imaging Equipment: Part Count Reduction and System-Level Optimization for
“Observability”

伊東 陽一

(株式会社リコー)

Yoichi ITO

(Ricoh Company, Ltd.)

TD-02 近年のクラフト文化と熱溶融方式による印刷表現の提案……………
Recent Craft Culture and Proposals for Printing Expression Using Method in the Melt Thermal
Transfer Technology

中村 知亜梨, 渡辺 将仁, 寺尾 博年

(アルプスアルパイン株式会社)

Chiali NAKAMURA, Masahito WATANABE, Hiroto TERAO

(ALPS ALPINE CO., LTD.)

16:15 - 16:45 Authors' Interview

16:45 - 17:20

第 5 回複写機遺産認定式

The 5th Copying Mashine Heritage Certification Ceremony

複写機遺産認定委員会 (日本画像学会)

Copying Mashine Heritage Certification Committee (The Imaging Society of Japan)

Lounge 10:00～17:00

D会場 (H1棟 3階 ラウンジ)
Room D (Lounge, 3F, H1 Building)

10:00 – 17:00

展示会

Products Exhibition

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

12:00 - 13:30

特別企画 ワークショップ
Special Event: Workshop

若い力のつながりで拓く！画像技術者の未来座談会

The Nexus of Young Talent Pioneers !

A Roundtable Discussion on the Future of Imaging Technology Engineers

企画委員会

Planning Committee

(日本画像学会)

(The Imaging Society of Japan)

15:00 – 17:00

インタラクティブセッション:ポスター発表

Interactive Session: Poster Presentation

(16:00 – 17:00: ハッピーアワー / Happy Hour)

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

懇親会 17:30～19:30

H1棟 2階 Kitchen MOTOTECH
Kitchen MOTOTECH, 2F, H1 Building

17:30 - 19:30

懇親会

Social Hour

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

Track I 9:20~17:20

A会場（H2棟3階多目的ホール）
Room A (Main Hall, 3F, H2 Building)

9:20 - 10:20

電子写真 (1)
Electrophotography (1)

座長：安井 甲次 (キヤノン), 小森 智裕 (日機装)

Session Chairs: Koji YASUI (Canon Inc.),

Tomohiro KOMORI (NIKKISO CO., LTD.)

EP-01 ロール形状に応じたシート状メディア変形の発生形態

Deformation Modes of Sheet Media Induced by Roll Shape

木内 豊^{1,2}, 前田 秀一²

(¹富士フイルムビジネスイノベーション株式会社, ²東海大学)

Yutaka KIUCHI¹, Shuichi MAEDA²

(¹FUJIFILM Business Innovation Corp., ²Tokai University)

EP-02 データ同化サロゲートモデルを用いた定着器制御パラメータの最適設計

Optimization of Fuser Control Parameters Using Data-Assimilated Surrogate Model

榊 茂之, 工藤 雅史, 長谷部 恵

(富士フイルムビジネスイノベーション株式会社)

Shigeyuki SAKAKI, Masafumi KUDO, Satoshi HASEBE

(FUJIFILM Business Innovation Corp.)

EP-03 修正された静電場平衡機構を用いた多段磁気ブラシ現像特性の解析

Analysis on Multiple-Stage Magnet Brush Development Characteristics Using a Revised Charge Transport Equilibrium Mechanism

服部 好弘

(コニカミノルタ株式会社)

Yoshihiro HATTORI

(KONICA MINOLTA, INC.)

10:20 - 10:50 Authors' Interview

10:50 - 11:30

電子写真 (2)
Electrophotography (2)

座長: 久家 秀喜 (富士フイルムビジネスイノベーション), 村上 和歌子 (リコー)

Session Chairs: Hideki KUGE (FUJIFILM Business Innovation Corp.),

Wakako MURAKAMI (Ricoh Company, Ltd.)

EP-04 用紙プロファイラーによる多様なメディアの画質調整自動化

Automated Image Quality Adjustment for Diverse Media Using the Substrate Profiler

松隈 ちひろ

(富士フイルムビジネスイノベーション株式会社)

Chihiro MATSUGUMA

(FUJIFILM Business Innovation Corp.)

EP-05 抵抗測定の高精度化と操作性の両立を実現した用紙プロファイラー

The Paper Profiler: Achieving High-Precision Resistance Measurement and Usability

藤田 祥伍, 塩川 裕也, 木内 豊

(富士フイルムビジネスイノベーション株式会社)

Shogo FUJITA, Yuya SHIOKAWA, Yutaka KIUCHI

(FUJIFILM Business Innovation Corp.)

11:30 - 12:00 Authors' Interview

12:00 - 13:00 Lunch Break

Imaging Today 特別セッション「最新の画像処理技術」
Imaging Today Special Session:
“The Latest Image Processing Technology”

座長: 山崎 弘 (山崎国際コンサルティング), 齋藤 将史 (京セラドキュメントソリューションズ)

Session Chairs: Hiroshi YAMAZAKI (YAMAZAKI International Consulting),
Masafumi SAITO (KYOCERA Document Solutions Inc.)

- IT-01** プロダクションプリンティングへ向けた印刷用標準フォーマット PDF/X とバリエーブル印刷用
フォーマットの発達 (招待講演)
Development of Standard Document Printing Format PDF/X and Variable Document
Printing Format for Production Printing (Invited Speech)

松木 眞

Makoto MATSUKI

(元 NTT 印刷株式会社)

(Former NTT Printing Corporation)

座長: 齋藤 将史 (京セラドキュメントソリューションズ), 朝武 敦 (ATI-C コンサルティング)

Session Chairs: Masafumi SAITO (KYOCERA Document Solutions Inc.),
Atsushi TOMOTAKE (ATI-C Consulting)

- IT-02** エプソンのカラーインクジェット画像処理開発の歴史 (招待講演)
History of Epson's Color Inkjet Image Processing Development (Invited Speech)

角谷 繁明

Toshiaki KAKUTANI

(セイコーエプソン株式会社)

(Seiko Epson Corporation)

座長: 朝武 敦 (ATI-C コンサルティング), 山崎 弘 (山崎国際コンサルティング)

Session Chairs: Atsushi TOMOTAKE (ATI-C Consulting),
Hiroshi YAMAZAKI (YAMAZAKI International Consulting)

- IT-03** 電子写真プリンターの発展と画像処理の関わり (招待講演)
Contribution of Image Processing for the Progress of Electrophotographic Printers
(Invited Speech)

坂谷 一臣

Kazuomi SAKATANI

(コニカミノルタ株式会社)

(KONICA MINOLTA, INC.)

14:30 - 15:00 Authors' Interview

15:00 – 17:30

**ショーケース
Showcase**

座長：名越 応昇 (三菱製紙)

Session Chair: Masanori NAGOSHI (Mitsubishi Paper Mills Limited)

インクジェットショーケース(ショートプレゼンテーション)(15:00～16:00, Track I - A 会場)

Inkjet Showcase (Short Presentation) (15:00～16:00, Track I - Room A)

インクジェットショーケース(展示)(16:00～17:30, Lounge - D 会場)

Inkjet Showcase (Exhibition) (16:00～17:30, Lounge - Room D)

ICJ2026 実行委員会

(日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee

(The Imaging Society of Japan)

16:00 - 16:10 Break

16:10 - 16:50

**電子写真 (3)
Electrophotography (3)**

座長：服部 好弘 (コニカミノルタ), 兪 一梅 (富士フイルムビジネスイノベーション)

Session Chairs: Yoshihiro HATTORI (KONICA MINOLTA, INC.),
Yimei YU (FUJIFILM Business Innovation Corp.)

- EP-06** 長手分割ヒータを通電制御するオンデマンド定着技術……………
On-Demand Fixing Technology With Controlled Energization of a Longitudinally Segmented Heater
植川 英治, 岩崎 敦志 (キヤノン株式会社)
Eiji UEKAWA, Atsushi IWASAKI (Canon Inc.)
- EP-07** 加水による多数枚針なし綴じ技術の開発……………
Development of Multi-Page Binding Technology Through Water Addition
杉山 恵介, 佐々木 圭, 瀬戸 一貴 (エトリア株式会社)
Keisuke SUGIYAMA, Kei SASAKI, Kazuki SETO (ETRIA Co., Ltd.)

16:50 - 17:20 Authors' Interview

Track II 9:20~12:00

B会場 (H2棟 2階 集会室 1)
Room B (Meeting Room 1, 2F, H2 Building)

9:20 - 10:00

画像・感性 (1)
Image / Kansei (1)

座長: 松木 真 (元 NTT 印刷株式会社), 角谷 繁明 (セイコーエプソン)

Session Chairs: Makoto MATSUKI (Former NTT Printing Corporation),

Toshiaki KAKUTANI (Seiko Epson Corporation)

IM-01 明瞭性と新奇性に基づくグラフィックデザインの興味誘発に関する予備的研究……………

A Preliminary Study on Interest Elicitation in Graphic Design Based on Clarity and Novelty

峯岸 なつ子

(コニカミノルタ株式会社)

Natsuko MINEGISHI

(KONICA MINOLTA, INC.)

IM-02 シミュレーション生成データを用いた印刷画質不良を定量推定する AI の学習と実機検証……………

Training an AI for Quantitative Print-Quality Defect Estimation Using Simulation-Generated Data and Validating it on Real-Printer Images

山田 修也¹, 福岡 卓哉², 松浦 和成¹

(¹ブラザー工業株式会社, ²中日本技研株式会社)

Syuya YAMADA¹, Takuya FUKUOKA², Kazunari MATSUURA¹

(¹Brother Industries, Ltd., ²Nakanihon Giken Co., Ltd.)

10:00 - 10:30 Authors' Interview

10:30 - 11:10

画像・感性 (2)
Image / Kansei (2)

座長：村井 宏亙 (リコーITソリューションズ), 峯岸 なつ子 (コニカミノルタ)

Session Chairs: Hironobu MURAI (Ricoh IT Solutions Co., Ltd.)

Natsuko MINEGISHI (KONICA MINOLTA, INC.)

IM-03 ドラム缶製造現場における AI 外観検査の評価手法の構築

—クレーム再発防止と過検知低減の両立—

Development of an Evaluation Method for AI-Based Visual Inspection in Drum Manufacturing :
Balancing Prevention of Recurring Customer Complaints and False Positive Reduction

藤井 大輝, 奈良輪 祥泰, 玉川 博一

(JFE コンテナナー株式会社)

Daiki FUJII, Yasuhiro NARAWA, Hirokazu TAMAGAWA

(JFE Container Co., Ltd.)

IM-04 ハーフトーン処理の前段に用いる、3D-LUT 参照高速色変換手法

A High-Speed Color Conversion Method Using 3D-LUT Reference Before Halftone Processing

角谷 繁明

(セイコーエプソン株式会社)

Toshiaki KAKUTANI

(Seiko Epson Corporation)

11:10 - 11:40 Authors' Interview

11:40 - 13:00 Lunch Break

Lounge 9:00～17:00

D会場 (H1棟 3階 ラウンジ)
Room D (Lounge, 3F, H1 Building)

9:00 – 17:00

展示会

Products Exhibition

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

16:00 – 17:30

インクジェットショーケース (展示)

Inkjet Showcase (Exhibition)

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

懇親会 18:00～19:50

H1棟 2階 Kitchen MOTOTECH
Kitchen MOTOTECH, 2F, H1 Building

18:00 - 19:50

インクジェット拡大交流会 (懇親会)

Inkjet Networking Event (Social Hour)

インクジェット技術部会 (日本画像学会)

Technical Committee on Inkjet Technology (The Imaging Society of Japan)

Track I 9:00～16:50

A会場（H2棟3階多目的ホール）
Room A (Main Hall, 3F, H2 Building)

9:00 - 10:00

オーガナイズドセッション

インクジェット (1): インク・ヘッド
Inkjet (1): Ink / Head

座長: 関口 恭裕 (ブラザー工業), 大石 直樹 (理想テクノロジーズ)
Session Chairs: Yasuhiro SEKIGUCHI (Brother Industries, Ltd.),
Naoki OHISHI (RISO Technologies Corporation)

- IJI-01** ポリマー型顔料分散剤の化学構造と分子量分布が白色インクジェットインクの酸化チタン分散安定性及び再分散性に与える影響
Effect of Chemical Structure and Molecular Weight Distribution of Polymeric Pigment Dispersants on Dispersion Stability and Redispersibility of Titanium Dioxide in White Inkjet Inks
山口 彩乃, 高橋 辰宏, 高橋 茂樹, 高村 真澄 (山形大学)
Ayano YAMAGUCHI, Tatsuhiro TAKAHASHI, Shigeki TAKAHASHI, Masumi TAKAMURA
(Yamagata University)
- IJI-02** ブロックポリマー型顔料分散剤を用いた低分散剤量条件下でのインクジェットインクの溶剤安定性
Solvent Stability of Inkjet Ink Under Reduced Dispersant Content Conditions Using Block Copolymer-Type Pigment Dispersant
中江 勇真, 森下 亜里沙 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社)
Yuma NAKAE, Arisa MORISHITA (KYOCERA Document Solutions Inc.)
- IJI-03** ピエゾ式プリントヘッドを用いた擬塑性特性を持つ未希釈自動車塗料の安定吐出手法
A Stable Jetting Method for Undiluted Automotive Paints Having Pseudoplastic Properties Using Piezoelectric Printheads
五十嵐 遼, 清水 貴之, 久保田 禅, 菅 真志, 師岡 利光, 平田 雅一 (エスアイアイ・プリンテック株式会社)
Ryo IGARASHI, Takayuki SHIMIZU, Yuzuru KUBOTA, Masashi SUGA, Toshimitsu MOROOKA,
Masakazu HIRATA (SII Printek Inc.)

10:00 - 10:30 Authors' Interview

10:30 - 11:30

オーガナイズドセッション

インクジェット (2): システム・応用
Inkjet (2): System / Application

座長: 平野 政徳 (リコー), 瀬戸 信二 (富士フイルムビジネスイノベーション)

Session Chairs: Masanori HIRANO (Ricoh Company, Ltd.),

Shinji SETO (FUJIFILM Business Innovation Corp.)

IJS-01 インクジェットによるビールの泡への画像形成シミュレーション

Simulation of Inkjet Image Formation on Foam Surfaces

門永 雅史^{1,2}, 平野 美希¹, 井賀 充香³, 石田 聡³, 美谷 周二朗¹, 酒井 啓司¹

(¹東京大学, ²かどらぼ, ³日本ペイントコーポレートソリューションズ株式会社)

Masami KADONAGA^{1,2}, Miki HIRANO¹, Mika IGA³, Satoshi ISHIDA³, Shujiro MITANI¹, Keiji SAKAI¹

(¹The University of Tokyo, ²Kado Labo., ³Nippon Paint Corporate Solutions Co., Ltd.)

IJS-02 インクジェット工法とカーボンニュートラル技術の融合

Integration of Inkjet Technology and Carbon Neutrality Solutions

山崎 智博

(株式会社ワイ・ドライブ)

Tomohiro YAMAZAKI

(Y DRIVE Co.,LTD.)

IJS-03 IJ ヘッドをジンバル機構で大型 3D 自由曲面へ沿って追従する塗布機能の実現

Realization of an Application Function That Tracks Large 3D Free-Form Surfaces Using A Gimbal Mechanism With an IJ Head

山崎 智博

(株式会社ワイ・ドライブ)

Tomohiro YAMAZAKI

(Y DRIVE Co.,LTD.)

11:30 - 12:00 Authors' Interview

12:00 - 13:00 Lunch Break

13:00 - 13:30

2024 年度日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞受賞記念講演
Commemoration Lecture of the Konica Minolta Science and Technology
Foundation Research Grant 2024

座長: 木崎 宏恵 (三菱ケミカル), 吉田 崇裕 (リコー)

Session Chairs: Hiroe KIZAKI (Mitsubishi Chemical Corporation),

Takahiro YOSHIDA (Ricoh Company, Ltd.)

KM-01 3D プリンターを用いた物理量の空間配置に関する研究

Research on the Spatial Arrangement of Physical Quantities Using 3D Printers

山崎 淳

(東京大学)

Jun YAMAZAKI

(The University of Tokyo)

13:30 - 14:00

2024 年度論文賞受賞記念講演 (2)
Commemoration Lecture of the Paper Award 2024 (2)

座長：宮本 栄一 (京セラドキュメントソリューションズ), 中村 一希 (千葉大学)
Session Chairs: Eiichi MIYAMOTO (KYOCERA Document Solutions Inc.),
Kazuki NAKAMURA (Chiba University)

PA-02 高粘度液体オンデマンド連続吐出機構の開発および評価

Development and Evaluation of On-Demand Printing Technology for Highly Viscous Liquids

小林 和也¹, 渡部 裕也², Yee Jingzu², 鳥居 慎士³, 栗田 雅章³, 田川 義之²

(¹日本工業大学, ²東京農工大学, ³紀州技研工業株式会社)

Kazuya U. KOBAYASHI¹, Hiroya WATANABE², Jingzu YEE², Shinji TORII³, Masaaki KURITA³,

Yoshiyuki TAGAWA² (¹Nippon Institute of Technology, ²Tokyo University of Agriculture and Technology,
³Kishu Giken Kogyo Co., Ltd.)

14:00 - 14:10 Break

14:10 - 14:50

オーガナイズドセッション

インクジェット (3):メディア上挙動
Inkjet (3): Behavior on Media

座長：奥田 貞直 (ミマキエンジニアリング), 宮戸 健志 (富士フイルムビジネスイノベーション)
Session Chairs: Sadanao OKUDA (MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.),
Takeshi MIYATO (FUJIFILM Business Innovation Corp.)

IJM-01 X線全散乱を用いた印刷用紙ナノスケール三次元構造の低コスト・高速計測

Cost-Effective and Rapid Three-Dimensional Nanoscale Structural Characterization of Printing Paper Using X-Ray Total Scattering

中川 亮汰¹, 酒井 淳², 山崎 公晴², 加藤 弘一^{1,2}, 原田 祥宏^{1,2}, 伏信 一慶¹, 兒玉 学¹

(¹東京科学大学, ²株式会社リコー)

Ryota NAKAGAWA¹, Atsushi SAKAI², Kimiharu YAMAZAKI², Koichi KATO^{1,2}, Yoshihiro HARADA^{1,2},

Kazuyoshi FUSHINOBU¹, Manabu KODAMA¹ (¹Institute of Science Tokyo, ²Ricoh Company, Ltd.)

**IJM-02 UVインクジェットプリンタにおけるホログラムペーパーの使用によるポスター表現の印象の違い
についての調査**

A Study on Differences in Perceived Poster Expressiveness Using Hologram Paper in UV Inkjet Printer

大場 久恵

(東京電機大学)

Hisae OBA

(Tokyo Denki University)

14:50 - 15:20 Authors' Interview

15:20 - 16:20

オーガナイズドセッション

インクジェット (4): 吐出
Inkjet (4): Ejecting Process

座長: 加川 哲哉 (コニカミノルタ), 木村 里至 (セイコーエプソン)

Session Chairs: Tetsuya KAGAWA (KONICA MINOLTA, INC.),
Satoshi KIMURA (Seiko Epson Corporation)

- IJE-01** インクジェットプリントヘッド流路内におけるキャビテーション現象の数値解析と実験による観測……………
Numerical Analysis and Experimental Observation of Cavitation Phenomena in Inkjet Printhead Flow Channels
宮原 崇, 渡辺 和樹, 宮里 健太郎, 池内 渉 (京セラ株式会社)
Takashi MIYAHARA, Kazuki WATANABE, Kentaro MIYAZATO, Wataru IKEUCHI (KYOCERA Corporation)
- IJE-02** 波形設計のための簡易シミュレーションによるノズルメニスカスの可視化……………
Visualization of Nozzle Meniscus Using a Simplified Simulation for Waveform Design
尾崎 佑樹, ペリタ バスティエン, 光吉 要 (花王株式会社)
Yuki OZAKI, Perrita BASTIEN, Kaname MITSUYOSHI (Kao Corporation)
- IJE-03** インクジェット微細孔フィルタの圧力損失……………
Pressure Loss of Inkjet Microporous Filter
石川 博幸 (ブラザー工業株式会社)
Hiroyuki ISHIKAWA (Brother Industries, Ltd.)

16:20 - 16:50 Authors' Interview

Track II 9:00~16:30

B会場 (H2棟 2階 集会室1)

Room B (Meeting Room 1, 2F, H2 Building)

9:00- 10:00

オーガナイズドセッション

電子ペーパー・フレキシブル (1)
Electronic Paper / Flexible (1)

座長: 吉田 学 (産業技術総合研究所), 山本 真也 (富士フイルムビジネスイノベーション)
Session Chairs: Manabu YOSHIDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
Shinya YAMAMOTO (FUJIFILM Business Innovation Corp.)

FL-01 構造解析および素子特性に基づく液晶相経由後 Ph-BTBT-10 多結晶薄膜の冷却条件と熱アニール条件の最適化

Optimization of Cooling and Thermal Annealing Conditions for Liquid-Crystal-Processed Ph-BTBT-10 Polycrystalline Thin Films Based on Structural Analysis and Device Characteristics

中野 博貴¹, 岡 昂徹², 塩谷 暢貴², 長谷川 健², 飯野 裕明¹ (1 東京科学大学, 2 京都大学)

Hiroki NAKANO¹, Takayuki OKA², Nobutaka SHIOYA², Takeshi HASEGAWA², Hiroaki IINO¹

(¹Institute of Science Tokyo, ²Kyoto University)

FL-02 液晶性有機半導体を用いたバルクヘテロ接合膜における分子配向および移動度の変化とその有機フォトダイオード特性評価

Change of Molecular Orientation and Mobility of Liquid Crystalline Organic Semiconductors in Bulk Hetero Junction Structure and Its Organic Photodiode Performance

鈴木 一世, 飯野 裕明

(東京科学大学)

Issei SUZUKI, Hiroaki IINO

(Institute of Science Tokyo)

FL-03 液晶性有機半導体 Ph-BTBT-10 の極薄膜における自発的なバイレイヤー結晶構造化

Spontaneous Transition to Bilayer Crystal Structure in Ultra-Thin Films of Liquid Crystalline Organic Semiconductor, Ph-BTBT-10

山田 はるか¹, 鈴木 一世¹, Yves Geerts², Michele Sferrazza², 飯野 裕明¹

(1 東京科学大学, 2 ブリュッセル自由大学)

Haruka YAMADA¹, Issei SUZUKI¹, Yves GEERTS², Michele SFERRAZZA², Hiroaki IINO¹

(¹Institute of Science Tokyo, ²Université Libre de Bruxelles)

10:00 - 10:30 Authors' Interview

10:30 - 11:20

オーガナイズドセッション

電子ペーパー・フレキシブル (2)
Electronic Paper / Flexible (2)

座長: 松本 真二 (リコー), 野添 耕二 (FPT コンサルティングジャパン)

Session Chairs: Shinji MATSUMOTO (Ricoh Company, Ltd.),

Koji NOZOE (FPT CONSULTING JAPAN CO., LTD.)

- FL-04** 印刷プロセスへの展開を可能とするラジカルカチオン近赤外線吸収色素 (招待講演)
Printing-Processable Radical Cation Near-Infrared Absorbing Dyes (Invited Speech)

矢野 将文

(関西大学)

Masafumi YANO

(Kansai University)

- FL-05** 視力矯正レンズに対応した高透過率樹脂エレクトロクロミック(EC)シートの開発 (Focal Speech) ...
Newly Developed High-Transmittance Resin Electrochromic (EC) Dimming Glasses With
Prescription Lenses (Focal Speech)

小林 方大, 北村 昌弘, 藤原 誠, 松井 智紀, 大山 拓也

(住友ベークライト株式会社)

Masahiro KOBAYASHI, Masahiro KITAMURA, Makoto FUJIWARA, Tomoki MATSUI, Takuya OYAMA

(Sumitomo Bakelite Co., Ltd.)

11:20 - 11:50 Authors' Interview

11:50 - 14:10 Lunch Break

14:10 - 14:50

オーガナイズドセッション

電子ペーパー・フレキシブル (3)
Electronic Paper / Flexible (3)

座長: 前田 秀一 (東海大学), 常安 翔太 (東京工芸大学)

Session Chairs: Shuichi MAEDA (Tokai University),

Shota TSUNEYASU (Tokyo Polytechnic University)

- FL-06** ノイマン型コンピュータの苦手な処理を肩代わりするブール型コンピュータ
-ブール型コンピュータによる画像や音声の認識- (Focal Speech)

A Boolean Computer That Offloads Tasks Difficult for the von Neumann Computer

-Image and Audio Recognition Using a Boolean Computer- (Focal Speech)

井上 克己

(株式会社エイ・オー・テクノロジーズ)

Katsumi INOUE

(Advanced Original Technologies Co.,Ltd.)

- FL-07** 潜像画像とスマートフォンを使った新たな判定評価技術

A New Judgment and Evaluation Technology Using Latent Images and Smartphones

藤賀 直人¹, 重田 核², 高橋 永治², 森崎 良太² (1 光村印刷株式会社, 2 株式会社シンク・ラボラトリー)

Naoto TOGA¹, Kaku SHIGETA², Eiji TAKAHASHI², Ryota MORISAKI²

(¹Mitsumuraprinting Co., Ltd., ²THINK LABORATORY Co., Ltd.)

14:50 - 15:20 Authors' Interview

15:20 - 16:00

オーガナイズドセッション

電子ペーパー・フレキシブル (4)
Electronic Paper / Flexible (4)

座長：中村 一希 (千葉大学), 駒崎 友亮 (産業技術総合研究所)

Session Chairs: Kazuki NAKAMURA (Chiba University),

Yusuke KOMAZAKI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

FL-08 蛍光/りん光の熱消光コントラストを利用した分散型 EL の動的発光色制御……………
Dynamic Color-Switching in Powder EL Devices via Thermal Quenching Contrast

安部 紳一郎¹, 常安 翔太^{1,2}

(¹大分工業高等専門学校, ²東京工芸大学)

Shinichiro ABE², Shota TSUNEYASU^{1,2}

(¹National Institute of Technology, Oita College, ²Tokyo Polytechnic University)

FL-09 ZnS 系蛍光体から Nd(III)錯体へのダウンコンバージョンに基づく近赤外分散型無機 EL の構築……
Construction of Near-Infrared Powder EL Based on Downconversion From ZnS-Type Phosphor to
Nd(III) Complexes

橋詰 英虎¹, 齊藤 匡悟¹, 常安 翔太², 井手 智仁¹

(¹東京工業高等専門学校, ²東京工芸大学)

Hidetora HASHIZUNE¹, Kyogo SAITOH¹, Shota TSUNEYASU², Tomohito IDE¹

(¹National Institute of Technology, Tokyo College, ²Tokyo Polytechnic University)

16:00 - 16:30 Authors' Interview

Lounge 9:00~16:00

D 会場 (H1 棟 3 階 ラウンジ)

Room D (Lounge, 3F, H1 Building)

10:00 – 16:00

展示会

Products Exhibition

ICJ2026 実行委員会 (日本画像学会)

ICJ2026 Executive Committee (The Imaging Society of Japan)

◆ICJ2026 は、オンラインツールとして Zoom を用いたハイブリッド形式で開催します。

Imaging Conference JAPAN 2026 参加要領 (Registration)

◆参加登録について

- ICJ2026 は、ハイブリッド開催の予定です。事前の参加登録に加え、当日会場でも受付を行います。会場での混雑を避けるため、事前の参加登録をお願いいたします。事前参加申し込みの締め切りは、5月29日(金)となります。
- オンラインでご参加希望の方およびオンラインと対面の双方でご参加希望の方は、開催前に Zoom アドレスを配信いたしますので、必ず事前の参加登録をお願いいたします。事前に参加登録し、参加費の振り込みが確認できた場合のみ、アドレスを配信いたします。
- 5月15日(金)までに事前参加登録にお申込みいただくと、参加費割引が適用されます。発表者は、参加を前提としておりますので、参加費割引が適用されます。また、40歳未満の方、3名グループ割引が適用対象者は、特別参加割引料金が設定されます。
- 維持会員の方は維持会員証1枚で会員1名分の参加となります。
- 参加申し込みの方は、お一人につき必ず1名の参加登録のお願いをいたします。
- 下記 URL にて web による事前申し込みを受け付けます。

<https://www.imaging-society-japan.org/conference/ICJ2026S/registration/>

◆参加費について

- 参加費は以下の通りです。参加費にはデジタル・冊子で配布する日本画像学会の論文集を含みます。
- 事前登録の場合は、参加費はメールでお送りする請求書に従って振り込み期限までにお支払いください。
- お支払い日の変更など、ご質問やご要望がありましたら参加登録メールに返信の形でご連絡ください。
- 協賛学会員の方は、会員扱いとなります。

参加費	5/15(金)まで	5/16(土)以降	
会 員(不課税)	12,000 円	13,000 円	(会員番号(会員証)、もしくは維持会員番号(維持会員証)をご入力(ご提示)下さい)
非会員(課税)	21,000 円 (+2,100 円)	22,000 円 (+2,200 円)	(()内は税額)
40歳未満個人会員 (不課税)	6,000 円	6,000 円	(会員番号(会員証)をご入力(ご提示)下さい。会場受付の際は年齢がわかるものをご提示ください)
40歳未満非会員 (課税)	14,000 円 (+1,400 円)	14,000 円 (+1,400 円)	(()内は税額)
3人グループ優待 会員(不課税)	18,000 円	19,000 円	(代表申し込み者1名に対して、40歳未満の方2名まで参加が可能です。40歳未満者は、会員/非会員を問いません)
3人グループ優待 非会員(課税)	27,000 円 (+2,700 円)	28,000 円 (+2,800 円)	(()内は税額)
学 生(不課税)	2,000 円	2,000 円	(会場受付の際は学生証をご提示ください)

- 日本画像学会会員で無い方は、この機会に会員登録されますと、コンファレンス等の費用が安くなります。

例: 非会員のまま参加登録=23,100円(事前割引)

⇒入会して会員として参加登録=20,000円(会費8,000円+会員参加費12,000円)。

入会手続きは学会ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.imaging-society-japan.org/www/jp/announce/admission/>

◆特別イベントについて

- 特別イベント(ワークショップ『若い力のつながりで拓く! 画像技術者の未来座談会』、インクジェットショーケース、Imaging Today 特別セッション)の参加申し込みも可能です。
- インクジェットショーケースの参加には、ICJ2026 参加費のほか、参加費1,000円(不課税)が必要です。

◆懇親会のお知らせ

- 発表者、講演者と参加者の懇親を深めるために、第1日目の夕方に、懇親会を開催いたします。皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

・日時: 2026年6月10日(水) 17:30~19:30
・会場: すずかけホール H1 棟 2F Kitchen MOTOTECH
・申込: 当日会場入り口にて承ります
・会費(課税): 2,000円(会費1819円+消費税189円)

How to participate Imaging Conference JAPAN 2026

Registration

- ✓ ICJ2026 will be held hybrid style. Both online pre-registration and onsite registration will be available. Please register in advance at the pre-registration website to avoid congestion around the registration desk on the conference days. The application deadline is **May 29th (Friday)**.
- ✓ Online participant MUST register in advance since Zoom address will be sent prior to the conference. The address will be sent to participants who accomplish both pre-registration and payment of the registration fee.
- ✓ Discount fee is applied if you make a pre-registration on the website by **May 15th (Friday)**. Since the presenter is premised on participation, the participation fee discount will be applied. Additionally, special discount rates are available for those under 40 years old and for groups of three eligible for the discount.
- ✓ If you are a supporting company member, you can participate for one member with one supporting company membership card.
- ✓ If you are applying for participation, please be sure to register for one person per person.
- ✓ Pre-registration site on the web is below;
<https://www.imaging-society-japan.org/conference/ICJ2026S/registration/>

Registration fee

- ✓ The registration fee is as follows. The fee includes a conference proceeding book by the Imaging Society of Japan.
- ✓ Please pay the registration fee by the transfer deadline according to the invoice sent.
- ✓ If you have any questions or requests, such as changing the payment date, please contact us in the form of a reply to the registration email.
- ✓ Sponsored society members will be treated as members.
- ✓ **Non-member can save registration fee if he (she) signs-up to be an ISJ member.**

Registration fee	Until 5/15	After 5/16	
Member (nontaxable)	12,000 yen	13,000 yen	(Please enter (indicate) your personal membership number (card) or supporting company membership number (card))
Non-member (taxable)	21,000 yen (+2,100 yen)	22,000 yen (+2,200 yen)	(() tax)
Member under the age of 40 (nontaxable)	6,000 yen	6,000 yen	(Please enter (indicate) your personal membership number (card) and indicate your ID at the conference site)
Non-member under the age of 40 (taxable)	14,000 yen (+1,400 yen)	14,000 yen (+1,400 yen)	(() tax)
Member under the age of 40 (nontaxable)	18,000 ¥	19,000 ¥	(Up to two people under the age of 40 may participate per representative applicant. Those under the age of 40 may be members or non-members)
Non-member under the age of 40 (taxable)	27,000 ¥ (+2,700 ¥)	28,000 ¥ (+2,800 ¥)	(() tax)
Student (nontaxable)	2,000 yen	2,000 yen	(Please indicate your student ID at the conference site)

Special Event

- ✓ You can also participate in the special events Workshop " The Nexus of Young Talent Pioneers ! A Roundtable Discussion on the Future of Imaging Technology Engineers," Inkjet Showcase and Imaging Today Special Session.
- ✓ In addition to the ICJ2026 participation fee, participation in the Inkjet Showcase requires a participation fee of 1,000 yen (non-taxable).

Social Hour

- ✓ Onsite Social Hour will be held in the evening of the first day for making communication with authors and for networking. Please don't hesitate to join us.

Date and time:	June 10th, 2026 (Wed.) 17:30 - 19:30
Venue:	Kitchen MOTOTECH, H1 Building, Suzukake Hall
Registration:	At the entrance of the room on the day
Fee (taxable):	2,000 yen (1819 yen + tax 181 yen)

会場のご案内

東京科学大学 横浜(旧すずかけ台)キャンパス

〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259

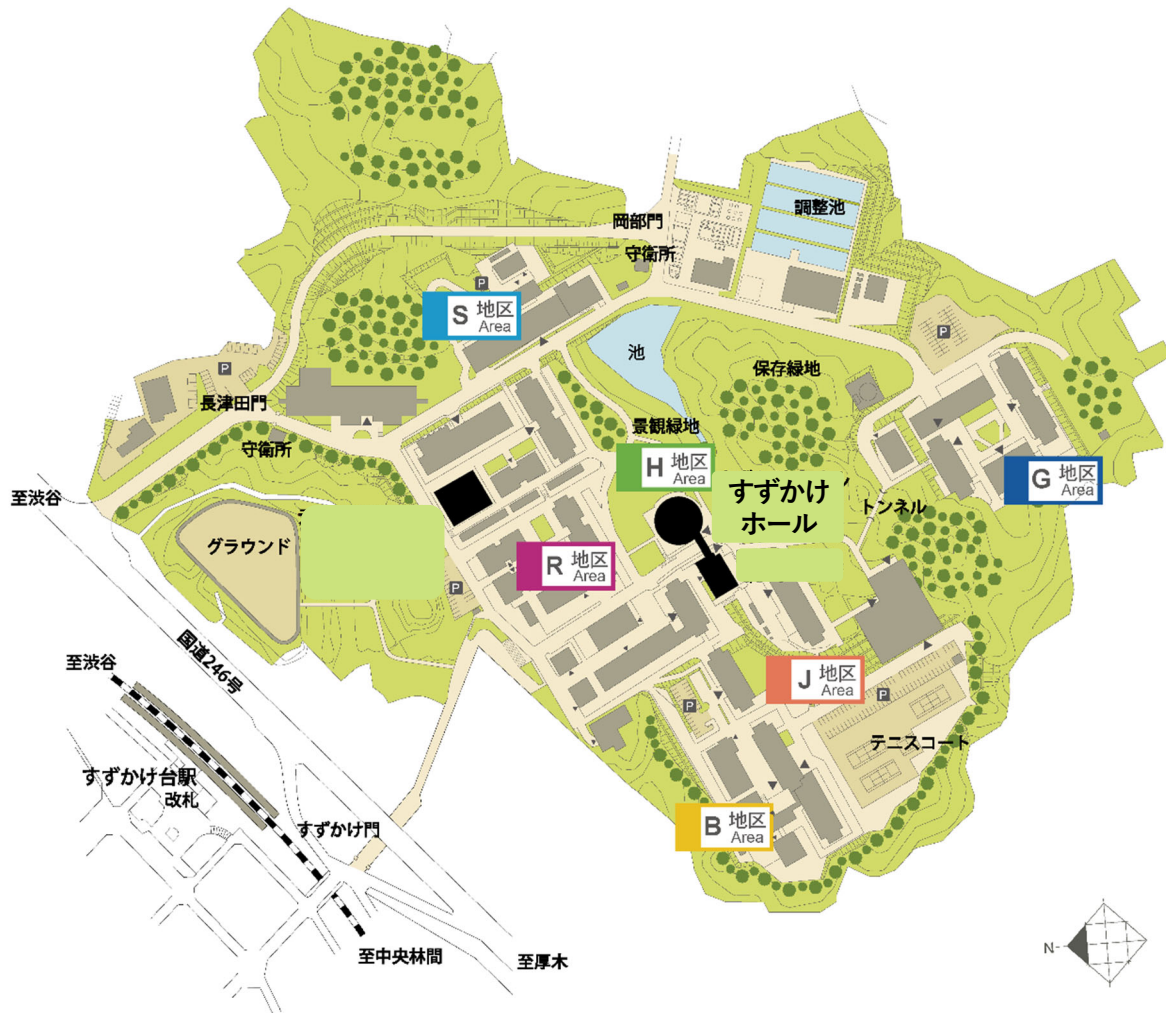
<https://www.isct.ac.jp/ja/001/access>

- ・ 〈最寄駅〉 東急田園都市線 すずかけ台駅 徒歩5分

交通アクセス：

- ・ 東京 70 分（東京メトロ丸の内線 → 東京メトロ半蔵門線 → 東急田園都市線）
- ・ 渋谷 45 分（東急田園都市線）
- ・ 品川 60 分（JR 東海道本線 → JR 京浜東北線 → JR 横浜線 → 東急田園都市線）
- ・ 新横浜 30 分（JR 横浜線 → 東急田園都市線）

キャンパスマップ：



Conference Site

Yokohama Campus, Institute of Science Tokyo

4259 Nagatsuta-cho, Midori-ku, Yokohama, Kanagawa 226-8501 Japan

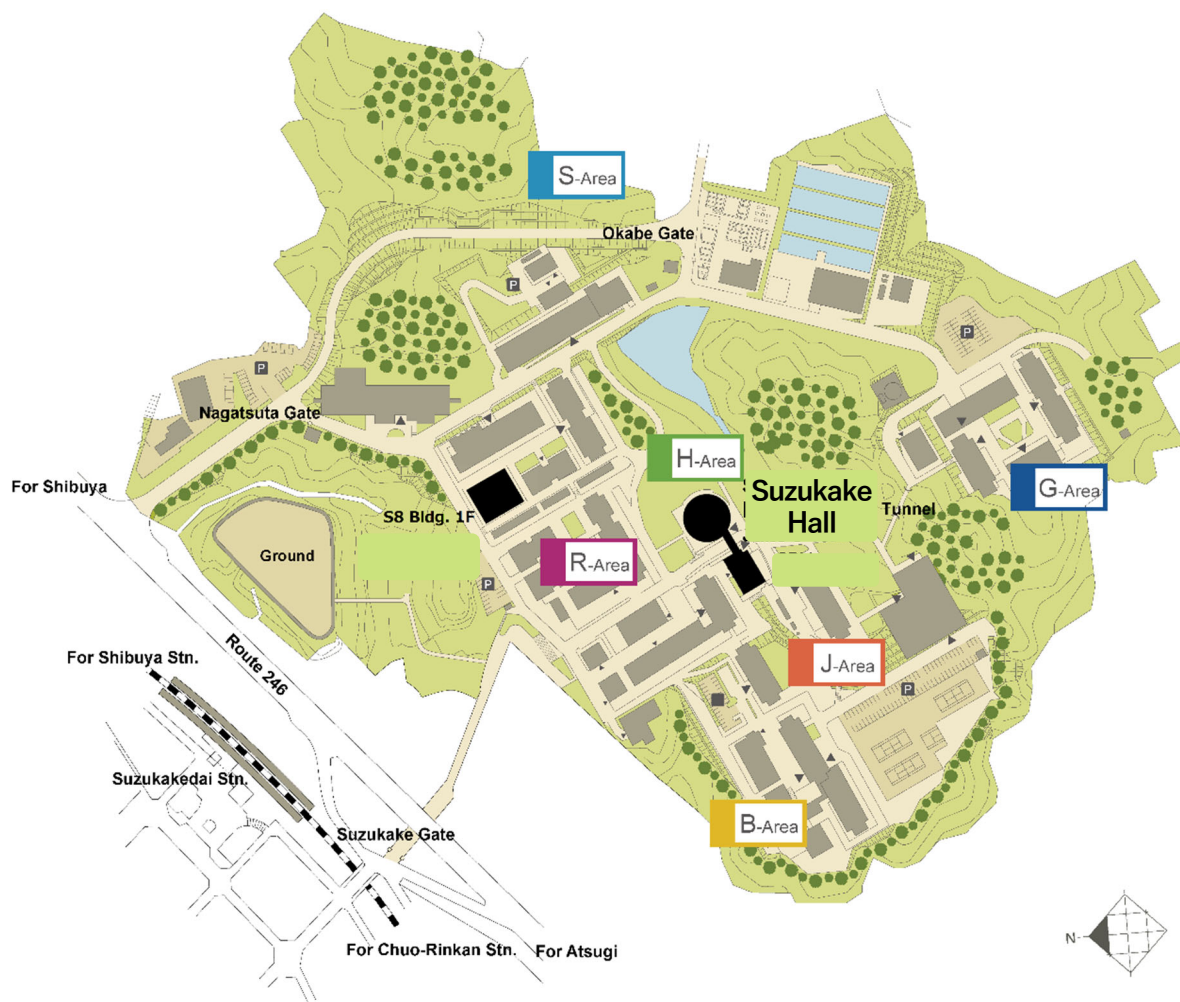
<https://www.isct.ac.jp/ja/001/access>

- Yokohama Campus is a 5-minute walk from Suzukakedai Station on the Tokyu Denentoshi Line.

Access to the Yokohama Campus:

- Tokyo 35 minutes (JR Keihin Tohoku Line → Tokyu Oimachi Line)
- Shibuya 20 minutes (Tokyu Toyoko Line → Tokyu Oimachi Line)
- Shinagawa 20 minutes (JR Keihin Tohoku Line → Tokyu Oimachi Line)
- Shin-Yokohama 25 minutes (Tokyu Shin-Yokohama Line → Tokyu Meguro Line)

Campus Map:



◆ ICJ2026 実行委員会 ◆

【実行委員長】

飯野 裕明 (東京科学大学)

【副実行委員長】

原田 祥宏 (東京科学大学/株式会社リコー)

【実行責任者】

吉田 崇裕 (株式会社リコー)

【副実行責任者】

中山 信行 (日本画像学会/東京工芸大学)

高橋 茂樹 (山形大学)

【実行委員】

門永 雅史 (東京大学)

木崎 宏恵 (三菱ケミカル株式会社)

久家 秀喜 (富士フイルムビジネスソリューション株式会社)

城田 衣 (デジタルテキスタイル研究部会)

鈴木 健彦 (キヤノン株式会社)

田川 義之 (東京農工大学)

常安 翔太 (東京工芸大学)

朝武 敦 (ATI-Cコンサルティング)

中井 洋志 (エトリア株式会社)

中村 一希 (千葉大学)

名越 応昇 (三菱製紙株式会社)

服部 好弘 (コニカミノルタ株式会社)

福江 高志 (金沢工業大学)

前坂 敏秀 (理想科学工業株式会社)

前田 秀一 (東海大学)

峯岸 なつ子 (コニカミノルタ株式会社)

宮本 栄一 (京セラドキュメントソリューションズ株式会社)

村井 宏亘 (リコーITソリューションズ株式会社)

村上 和歌子 (株式会社リコー)

森 尚子 (株式会社リコー)

矢口 博之 (東京電機大学)

安井 甲次 (キヤノン株式会社)

山口 大地 (株式会社リコー)

山本 雅志 (エトリア株式会社)

吉田 学 (産業技術総合研究所)

【日本画像学会会長】

藤井 雅彦 (慶應義塾大学SFC研究所)

【コンファレンス委員長】

吉田 崇裕 (株式会社リコー)

【運営委員長】

矢口 博之 (東京電機大学)

【日本画像学会事務局】

中山 信行

竹内 達夫

西原 容子

◆ ICJ2026 Executive Committee ◆

【General Chair】

Hiroaki IINO (Institute of Science Tokyo)

【Vice Chair】

Yoshihiro HARADA (Institute of Science Tokyo / Ricoh Company, Ltd.)

【Responsible】

Takahiro YOSHIDA (Ricoh Company, Ltd.)

【Vice Responsible】

Nobuyuki NAKAYAMA (The Imaging Society of Japan / Tokyo Polytechnic University)

Shigeki TAKAHASHI (Yamagata University)

【Member】

Masami KADONAGA (The University of Tokyo)

Hiroe KIZAKI (Mitsubishi Chemical Corporation)

Hideki KUGE (FUJIFILM Business Innovation Corp.)

Koromo SHIROTA (Digital Textiles Research Subcommittee)

Takehiko SUZUKI (Canon Inc.)

Yoshiyuki TAGAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Shota TSUNAYASU (Tokyo Polytechnic University)

Atsushi TOMOTAKE (ATI-C Consulting)

Hiroshi NAKAI (ETRIA Co., Ltd.)

Kazuki NAKAMURA (Chiba University)

Masanori NAGOSHI (Mitsubishi Paper Mills Limited)

Yoshihiro HATTORI (KONICA MINOLTA, INC.)

Takashi FUKUE (Kanazawa Institute of Technology)

Toshihide MAESAKA (RISO KAGAKU CORPORATION)

Shuichi MAEDA (Tokai University)

Natsuko MINEGISHI (KONICA MINOLTA, INC.)

Eiichi MIYAMOTO (KYOCERA Document Solutions Inc.)

Hironobu MURAI (Ricoh IT Solutions Co., Ltd.)

Wakako MURAKAMI (Ricoh Company, Ltd.)

Naoko MORI (Ricoh Company, Ltd.)

Hiroyuki YAGUCHI (Tokyo Denki University)

Koji YASUI (Canon Inc.)

Daichi YAMAGUCHI (Ricoh Company, Ltd.)

Masashi YAMAMOTO (ETRIA Co., Ltd.)

Manabu YOSHIDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

【ISJ's President】

Masahiko FUJII (Keio University Institute at SFC)

【Chair of ISJ's Conference Committee】

Takahiro YOSHIDA (Ricoh Company, Ltd.)

【Chair of ISJ's Steering Committee】

Hiroyuki YAGUCHI (Tokyo Denki University)

【ISJ's Secretary】

Nobuyuki NAKAYAMA

Tatsuo TAKEUCHI

Yoko NISHIHARA